



誕生

紀州

龍神コッコ

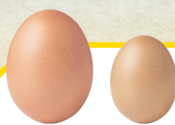


幻の龍神地鶏を原種に開発

龍神地鶏とは、龍神村を原産地とした日本鶏の一つで、龍神村の旧家で明治時代以前から代々受け継がれ飼育されてきた、歴史のある貴重な小型日本鶏です。メスは1枚ずつの羽に黒い縁取りの鱗模様があるのが大きな特徴で、オスは赤笹模様。その特徴のある美しい羽模様から、観賞用としてほんの僅かだけ飼育されていましたが、繁殖能力が低いこともあり、絶滅の危機に瀕しておりました。2012年から和歌山県畜産試験場養鶏研究所で、龍神地鶏の保護研究が開始され、その後2021年には、ロードアイランドレッドとの交配による採卵用地鶏「龍神コッコ」が開発され、遂にたまごの販売が始まりました。



黄身が大きく、
コクのある味わい



一般的な卵 龍神コッコ

小さめサイズで卵かけ
ご飯やおでんにぴったり



龍神コッコ

Ryujin Cocko



プレミアム和歌山



- とりとんファーム -
龍神コッコの
小さなたまご



- かごしげ農園 -
龍神コッコの
小さなたまご